

## ATHENA LIBRARY OF AMERICAN STUDIES

## 【アメリカ研究基本文献シリーズ】

## Part 9, Vols 33—35: Regional History, Second Series

ISBN 978-4-86340-010-8 ・ 全3巻セット定価(本体68,000円+税)

イギリスによるアメリカ新大陸初の植民地で、合衆国建国史上重要な役割を担った、アメリカ南部ヴァージニアの歴史についての南部人の手による定評ある興味深い著作。

➡ ヴァージニアの歴史 ‹➡



**Volume 33:** Samuel Chiles Mitchell, ed. *History of the Social Life of the South* (1909)

ISBN 978-4-86340-011-5 ・ 740 pp., 32 pl.  
定価(本体33,000円+税)

アメリカ南部の社会史、生活史の概説書。その内容とともに南部人による初の本格的なアメリカ南部の歴史概説書として重要視される『国家建設における南部：南部諸州の歴史』全13巻(*The South in the Building of the Nation: A History of the Southern States*, Richmond, Va.: Southern Historical Publication Society, 1909-13)の第10巻にあたるもの。監修者Samuel C. Mitchellは当時のサウスカロライナ大学学長。

**Part 1, *Social Life:*** Upper South • Lower South • Appalachian Region • European Influences • The Aristocracy of the Northern Neck • The Old Regime in Virginia ◆ **Part 2, *Racial Elements:*** English • French • Spanish • Germans • Jews • Indian • Negro ◆ **Part 3, *Educational Life:*** Southern Colonies • Before the War • Since the War • Higher Education • Universities and Colleges • Higher Education of Women • Secondary, Elementary, Normal, Medical, Theological, Legal, Technical, Industrial, Agricultural Education • The Kindergarten • General Education Agencies • Educational Ideals and Tendencies ◆ **Part 4, *Religious Life:*** Denominational Accomplishment • The Established Church in Virginia • Religious Movements • Development of Religious Liberty • The YMCA • The Sunday School • The Laymen's Missionary Movement • The Southern Pulpit • The Influence of Protestantism, the Catholic Church, Judaism ◆ **Part 5, *Social Movements:*** Temperance Reform • Child Labor • Care and Treatment of the Defectives • Farmer's Cooperative Demonstration Work • Social Settlements • Woman's Work • Woman's Part in the Educational Progress • Fraternal Organizations • Social Tendencies ◆ **Part 6, *Aesthetic Life:*** Painting • Sculpture • Architecture • Pottery

**Volume 34:** Philip Alexander Bruce *Social Life of Virginia in the Seventeenth Century: An Inquiry into the Origin of the Higher Planter Class, together with a Description of the Habits, Customs, and Diversions of the People* (1907; 2nd ed., 1927)

ISBN 978-4-86340-012-2 ・ 290 pp.  
定価(本体15,000円+税)

ヴァージニア植民地の入植者についての先駆的研究で、その社会構造を当時のイギリス田園社会と比較している。著者Philip Alexander Bruceは、人種・階級に関して時代的限界が見られるものの米国史家の中で重要な位置を保っている人物。植民地裁判所の記録を史料とした先駆者で、精力的な研究業績は基本的な参考文献としてよく引用され、今でも利用価値が高い。本書は1927年刊の増補改訂第2版を復刻。初版は1907年。

Size of Population • Influences Promoting English Emigration • Origin of the Higher Planter Class • The Yeomen • Social Distinctions • Social Spirit: ties with the mother country; manner of life; hospitality of the people • Popular Diversions: drinking and dancing; acting and games; horse-racing; hunting and fishing • Public and Private Occasions: the funeral; the wedding; church, court-day and muster • Duelling • Conclusion • Appendix • Index

**Volume 35:** Mary Newton Stanard *Colonial Virginia: Its People and Customs* (1917)

ISBN 978-4-86340-013-9 ・ 380 pp., 65 pl.  
定価(本体20,000円+税)

学術的ではないものの、ヴァージニア植民地の生活、習俗を記述して大変興味深い著作。この地での記録や手記、新聞、単発の刊行物などに基づいて、初期入植者の時代から独立期までの南部の日常を良く説明している。著者Stanard女史はヴァージニア歴史協会の書記官で*Virginia Magazine of History and Biography*の編集者であったWilliam G. Stanardの妻。

Virginia People: the founders of the colony; the later emigrants • Houses from Log-cabin to Mansion • Household Goods: furniture; plate • Social Life: the home; hospitality; festivities; gaming, taverns, fairs, etc. • Courtship and Marriage • Dress: jewels • Virginia and England • The Theatre • Outdoor Sports • Education: free schools; private schools; tutors; William and Mary College; studying abroad • Books • Music • Pictures • Religion • Funeral Customs • Index

# アメリカ南部の大農園主、その神話的由来をたどる。

後藤 和彦 立教大学教授



奴隷制度を擁し、戦争に敗れたアメリカの南部は、アメリカにあって常に異彩を放ってきた土地だ。従って南部人は、アメリカの他の地域と自分たちの故郷との差異にいつも敏感にならずにはいられず、また故郷について語らずにはおれない人々だ。

今回、アティーナ・プレスから復刻されるのもこうした南部人たちの南部論で、だからこれらの書物の読みどころは、古い南部の生活の感触を南部人自身の証言によって知るといふこれらの書物の実質もさることながら、彼らの語る調子そのものにもある。人が自分の故郷を語れば、一般に愛憎半ばする調子が表れるものだが、特に南部人にとつては、故郷のたどってきた道のりがアメリカにおける「異端」の歷程であったので、そのような調子は一層顕著となり、時として過剰に奔出することとなる。そしてそこには、彼らの語り対象としている時代だけでなく、彼らが生きて語っていたその時代もまたかいまみえる。

第33巻、Samuel Chiles Mitchell編*History of the Social Life of the South* (1909) は、南部の全貌を明らかにしようという壮大なプロジェクトの一環として、特に南部社会の人口動態、階級および人種関係、宗教、教育、芸術など様々な分野にそれぞれの専門の論客が集い、一項目について長くとも20ページ程度の簡潔な紹介・解説を付した。編者Mitchellは、南部人のあいだには共に苦難と悲しみを分かち合い耐えてきた“a community of feeling”があると言う。実際、この書物が出版された世紀転換期は人種をめぐる暴力が猖獗をきわめた時代で、南部社会が「いまだ生成過程にある社会なのだ」というMitchellの言葉は、Alfred Holt Stoneの担当した「南部における黒人種」の項目における「南北戦争前にあった人種間の情け深い関係がここ数十年に消え去ってしまった」という慨嘆と即応している。故郷の歴史の悲劇的展開に寄せる南部人の告白と弁明の不安定なバランスがここには読み取れる。

第34巻、Philip Alexander Bruce著*Social Life of Virginia in the Seventeenth Century* (1907) は、1607年入植以来のヴァー

ジニア植民地の社会を総合的に分析し論じた三部作の第二作。Bruceには、敗戦後の荒廃から立ち上がり、近代化を遂げようとする新しい南部の活力を称揚する著書もあるが、ここでは逆に戦争はるか以前にさかのぼり、南部でもっとも古く、南部人の精神的支柱たる英雄達を輩出したヴァージニアという土地に目を向け、特に母国イギリス上流社会の精神や風土との類縁性を強調しつつ、麗しき伝統の始まりを言祝ぐといった調子が支配的となっている。著名な南部史家C. Vann Woodwardは、敗戦後まもない時代を生きた南部人たちはほぼ一様に新南部の躍進への過剰な期待と、歴史のかなたに去った南部の神話時代への郷愁的没入とに引き裂かれた心境を呈すると述べたが、5歳で戦後を迎えたこのBruceはまさにその典型的な例だといえるだろう。

第35巻、Mary Newton Stanard著*Colonial Virginia: Its People and Customs* (1917) は、ヴァージニア歴史協会会長の妻という著者の立場を活かし、植民地時代のヴァージニアの社会風俗を当時の老若男女の日記、手紙、遺書などから再現、イラストや写真を惜しげもなく使用して完成した一書。このStanardという女性、*The Dreamer*という半分創作のエドガー・アラン・ポー伝の作者でもある点が興味深い（ポーもヴァージニア州都リッチモンドにゆかりの南部人）。「事実には縛られてはいるがポーの謎はとらえられない」と彼女が言うのだが、この書物は一転して当時の家の調度品や人々の服装などなどトリヴィアルな情報が満載である。しかし、この小さな事実のあくなき集積の意図の裏側には、今はなき古き良き時代に寄せる彼女の単純な憧憬などではなく、故郷の歴史の謎を解き明かし、南部の現実の混迷を打開したいという願望こそ見出されるべきではないか。

いずれの巻の著者も南部の命運を決したあの戦争の敗北とほぼ同時に生まれた人で、彼らの人生はそのまま南部の戦後の歩みと軌を一にしていた。学問的な客観と敗れた祖国に寄せる思いの交錯、このあたりをぜひ読み取っていただきたい。

【発行】

Athena Press

株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石4-33-18

Tel: 03(3946)2117 Fax: 03(5977)8026

E-mail: eigyo@athena-press.co.jp

http://www.athena-press.co.jp

【取扱書店】